

# お子さんの学習や発達でお困りの方はいませんか？

新庄市の小中学校では最上地区専門家チーム会議や山形大学地域教育学部 教授 三浦光哉 氏の指導を受け、一人一人の個性に合わせた対応をするために必要な児童生徒に教育的支援を行っています。

## LD（学習障がい）

- ・・・聞く、話す、読む、書く、計算するまたは推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難

## ADHD（注意欠如多動性障がい）

- ・・・「不注意」「多動性」「衝動性」により、学習に集中することが難しい

## ASD（自閉症スペクトラム症）

- ・・・対人関係の困難さ・コミュニケーション（ことば）の発達の遅れ  
こだわり・興味関心の狭さ

⇒空間認知障がいとのかかわり

※見る力のつまずきで、文字のバランスなどが理解できずに、文字が定着しない場合もある。

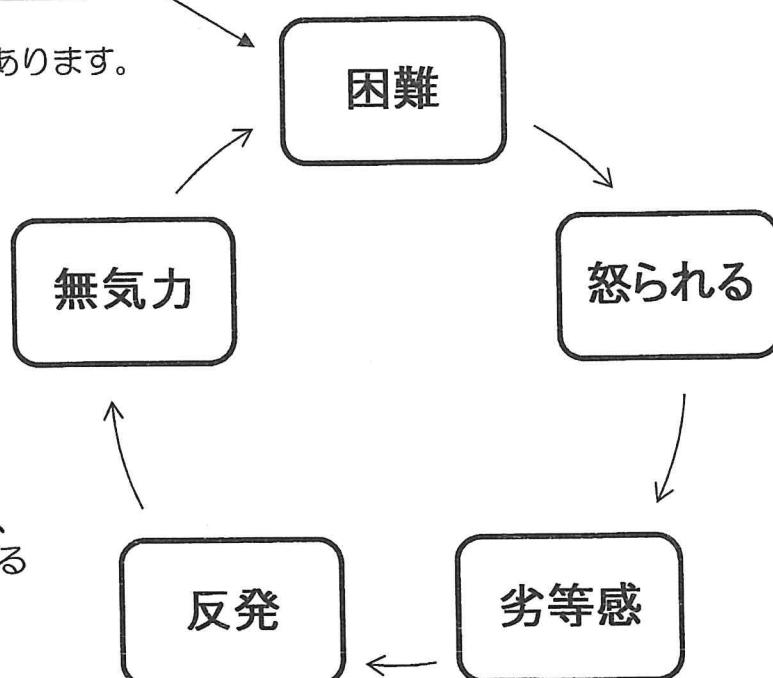
## 困難を困難のまま放置すると！

悪循環をどこかで切る必要があります。

検査を受けることで、  
特性がわかる場合も  
あります。

成果を本人の努力だけに  
求めてしまうのは  
酷な時があります。

検査の結果をもとに関わりや  
情報提供の仕方を工夫したり、  
ノートの枠組みを変えたりする  
ことで、理解が深まる場合も  
あります。



◎いずれにしても、自分の特性を  
理解することが大切です。

◎心配な点や心当たりのある方は、遠慮なさらずにご相談ください。

また、学校でも三浦先生の指導を受けて、子供たちの成長のために検査が必要と思われる場合には学校からも相談しますので、今後のことと一緒に考えていきましょう。